

笑顔あふれる大戸小

大戸小マスコットすぎっぴー



大戸小だより

URL:<http://oto-e.saitama-city.ed.jp/>

開校147年 学校教育目標 ○かしこく ○やさしく ○たくましく



令和2年1月8日
学校だより1月号
さいたま市立大戸小学校
831-3796
明治6年開校

心温まる年になりますように！

校長 浅見 正史

新年あけましておめでとうございます。令和2年（2020年）、東京オリンピック・パラリンピックの年です。楽しみが膨らむねずみ年としたいものです。

一月のことを「睦月（むつき）」と言います。由来は諸説ありますが、仲良くすること、仲睦まじいことなどの意味をもち、お正月に家族や親戚が集って宴をする「睦び月（むつびつき）」と言われます。皆さんも、このお正月に家族や親戚の方々と仲良く過ごされたことと思います。

去年は台風19号等の自然災害や様々な事件事故、いじめの認知件数も増加し、心休まる日がなかったように思います。睦月のお正月にあやかりたいと思っていたそんな時、図書室で心温まる本を教えてくださいました。

『しんせつな ともだち』（あらすじ）

食べ物が無い寒い冬です。お腹がすいたウサギが、蕪（かぶ）を二つ見つけました。一つだけ食べて、もう一つは同じようにお腹をすかせているロバに届けましたが留守です。ウサギはロバの家に蕪を置いていきます。家に帰ってきたロバは、蕪にびっくりします。ちょうどさつま芋を手に入れたばかりだったロバは、蕪をヤギに届けます。ヤギが白菜を持って帰ると蕪にびっくりします。ヤギはシカの家に蕪を置いていきます。そして、シカは友だちのウサギの家に届けます。ウサギは優しい友だちが蕪を届けてくれたことが分かり、温かな気持ちになりました。



本校でも子ども同士のトラブルはあります。「もう少し友だちの気持ちを考えた言動をしてくれたらな」と思う時がありました。そんな時、ちょっと一つ二つと間を取って、相手の気持ちを心の中で考えて行動をしてほしいです。私たち大人もそうですが、その間を大切にすれば、もっともっと温かい大戸小になると思います。

学校教育目標の一つ『やさしさと思いやりのある子ども』を育成するため、教職員一同、子どもに寄り添ってまいります。本年もよろしく願いいたします。

お正月の集い 1月11日（土）9:30～12:00 会場：大戸小

青少年育成与野南地区会の皆様によるお正月の集いは、地域の輪を広げるとともに昔から伝わるお正月の行事を知り、日本文化の良さを体験できる機会です。「作って、食べて、挑戦して」ぜひ、ご家族で参加してみてください。